

ゼッタイ残したい！花嫁姿の記念写真

前撮りフォト

結婚式の前にじっくりと晴れ姿を撮影できる前撮り写真が大人気！
結婚の思い出として一生残せるフォトウエディングの魅力をご紹介します





金沢城や東茶屋街で前撮り！ 和服が似合う町だと感じました

和婚に憧れる気持ちがあったものの、結婚式は洋装だけと決めていました。しかし衣装の下見で見た打掛が素敵でどうしても和装が着たくなり、ネットで知った『金澤 syugen』に前撮りをお願いすることに。最初はぎこちなかったのですが、後半はリラックスして笑顔で撮影に臨めました。柴犬が大好きなので紋服の紋をオリジナルで柴犬シルエットに。散歩中の柴犬とも撮影できました。名古屋から私の祖父母も見に来てくれ、とても喜んでくれて嬉しかったです。

couple data 羽根田晃一さん&紗さん
撮影日/2013年4月19日
撮影場所/金沢市内
取材協力/金澤syugen





1. 百余年の時を経た十月亭を婚家に見立て古き婚文化の再現もしました。料理は金沢の老舗料亭「銭屋」プロデュース。新郎家で丹精こめて作られた農作物と生花で作したオーダーメイドの日本庭園は、お米が白砂、ブロッコリーが庭木、大豆は小石に見立てたもの。鮮やかな金花糖とお雛様も飾り「桃の節句」を表現 2. 金澤syugenのコンセプトは「ふたりの新居に招かれたようなおもてなし」。親族のみの食事会で皆さんに感謝の想いを伝えました 3. 金沢の花嫁らしく水引の梅を手作り。ゲスト一人ひとりに手紙を添えた席次表を用意



当日は大雪！東茶屋街にほど近い、銀色に染まった宇多須神社が挙式の舞台。春菜さんの白無垢姿がひととき凛と映えて

report 5

プラチナの雪がふたりの門出を祝福 古都の風情と趣漂う「金澤町屋和婚」



6

4. 新郎家自慢の「稲穂」、ふたりが出逢った「富士山」をデザインしたオリジナルの「寿せんべい」 5. 金沢の雑祭りに欠かせない「金花糖」。ふたりの婚礼のテーマでもある、カラフルな砂糖菓子がおもてなしのシンボル。カラフルな砂糖菓子が会場のどこにどこに 6. 金澤つまみ紗衣で作られた花嫁の大好きなガーベラの花のかんざしと、鶴モチーフの随甲かんざしはオーダーメイド 7. 雪の東茶屋街はいつもの風情 8. 雪の女王のような白無垢から、友禅作家・秋山章作の赤の色打掛にお色直し。桜など春を思わせる裾模様にも、春菜さんのこだわりが。お母様にサプライズの演出「紅さしの儀」は、母と娘の心が通う叙情的なシーンになりました



5



3



4



8



7

白無垢をまとい、白一色に包まれる挙式を望んでいた春菜さん。当日は金沢の冬らしく、真っ白な雪が降るなかでの婚礼となりました。ゆかりのある宇多須神社で、神主様より聞いた三三九度の由来をかみしめながら式に臨まれたおふたり。続く祝宴の会場まで、雪の東茶屋街を歩む花嫁道中では、足元が悪い中、みなさんが笑顔で一緒に行列してくれて本当に嬉しかったそうです。加賀藩の文化を今に伝える江戸時代の館「十月亭」に到着すると花嫁は色打掛にお色直し、お友達に「寿せんべい」をふるまわれました。ネットで知った金澤syugenの豊富な企画力で叶った、心浮き立つ披露宴のテーマは「金華糖祝言」。金婚式の50年を目標にと「金」、おふたりには華があるからと「華」、甘い結婚生活を願って「糖」と、桃の節句の祝い菓子に想いを託し、これから訪れる春の雰囲気でお色直しを彩りました。大好きな人と結婚できた喜びを改めて実感した春菜さん。「家族も友人も喜び祝ってくれ、感謝の気持ち一杯の幸せな一日になりました」と話されました。

"couple data"

下出文也さん
& 春菜さん
2014年2月8日
宇多須神社／十月亭



三三九度の盃には一つめの盃で過去を振り返り、二つめで今を見つめ、三つめで未来を思う意味合いがこめられています。過去・現在・未来を考えながら儀式に臨みます。静かな空気に全員が包まれました



金澤modern水引でオリジナルデザインした雪の結晶を綿帽子に飾りました。金澤syugenならではの上品な和モダン美装のセンスが光ります。まるでこの日を予想していたかのように。和傘をさしての花嫁道中もまた古都・金沢らしい情感あふれるひとときに



1. ゲストが見守る中、古くから伝わる加賀の婚礼のしきたり「お水合わせ」をアレンジした儀式。古来、雄大な松は男性の象徴であり、藤は物語の中でも女性の象徴であったことから、金澤modern水引のオリジナルデザインの水蝶は「松」と「藤」モチーフのデザイン 2. 金澤modern水引のオリジナルデザインの松藤モチーフも樽で「平安鐘開き」。中からは猫みくじが。ゲストのお席をまわり一人ひとりに開運のおみくじをひいてもらい感謝の想いも丁寧に伝えました。「アタリ」のお客様には麻希さんのお好きな香りのプレゼントもありました 3. 夫婦円満を表す金沢の伝統菓子「寿せんべい」も「松藤」と「東ね鬘斗」のオリジナルデザインで



4・5. おふたりの衣装が描かれた「金澤祝言こぼし」は、1対ずつご両親に贈られました。源氏花車柄の花嫁のれん、祭式部の装花が平安の雅を物語ります 6. 東ね鬘斗を描いたオリジナルデザインの彩羊羹にお花を添える「東ね鬘斗目の儀」は可愛らしいトッピングで和やかな儀式に 7. 松藤モチーフの金澤つまみ紗衣句「末広ブーケ」は指輪交換時はリングピローに



生まれ育った家から巣立つお嫁入り 加賀百万石の伝統が薫る平安朝祝言

report 8

八松苑に隣接する藤が丘公園にてロケーションフォト。緑に映える朱塗りの太鼓橋で情緒ある写真撮りが叶いました



1. 後ろ姿の流れるようなデザインが気に入って選んだ打掛をまとい、お仏壇参りをしてから出発しました 2. プランナーが和心を大切に和装でお手引き 3. シックな黒地の打掛を外すと、可憐な引き振袖姿に。一瞬でガラッと雰囲気が変わります。「母との衣装選びはいい親孝行になりました」と麻希さん。金澤つまみ紗衣句のかんざしと末広ブーケも読え、オリジナルデザインの裾巻きで歩く姿の可愛らしさもトータルコーディネート。金澤syugenの和モダン美装のセンスの良さも選んだ理由のひとつ



生まれ育った金沢の伝統を取り入れた「オリジナルの和」に憧れるおふたりは、式場を探すなか、想いや希望を形にしてくれる金澤syugenに出会われたそうです。お香やアロマが好きだと話すうち、「源氏物語」などにでてくる高貴な遊びに「薫物合せ」があることから「平安朝祝言」と提案されました。松や藤、東ね鬘斗などプランナーが麻希さんの希望を聞きながらデザイン画をおこし、アイテムが出来あがっていく過程も楽しかったそうです。お母様の影響で昔から和服が好きだった麻希さん。婚礼前日は、衣桁に飾られた花嫁衣装をご親族と囲んで賑やかに過ごされました。明けて当日、ご自宅で衣装をまといお仏壇参りを。「家で支度するお嫁入りは懐かしい」と、ご近所の方々も見に来てくれたそう。挙式は「お世話になった方々の前で誓いたい」と人前式に。茶香炉を焚いて加賀ほうじ茶の香りが漂う会場で、ゲストと写真を撮ったり、お喋りを弾ませたり。公園の緑と新鮮な食材の「八松苑祝い膳」でもてなし、みなさんに感謝の気持ちを伝えられました。

"couple data"

免田寛世さん
& 麻希さん
2013年10月13日
八松苑

金澤 syugen
TEL.076-214-4555
http://www.kanazawa-syugen.jp
石川県金沢市泉野出町2丁目
22-6 サンプルスペース2F

感謝を込めて 和婚を満喫!

両家のお父様に贈った輪島塗の名刺入れ

石川県の代表的な伝統工芸・輪島塗の名刺入れに漆絵でお印を描いてオリジナルの品に。スペシャルなプレゼントになりました。



祈りの想いで 和婚を満喫!



息災を祈る〈氷室〉をリングピローに表現

金沢では7月1日の氷室の日に、冬の氷を室から取り出し無病息災を願う習慣があり、古くは幕府に氷を献上していました。この伝統的な文化をリングピローで再現しました。

スポーツをテーマに 和婚を満喫!



和婚を満喫!

愛犬と一緒に 和婚を満喫!



大切な家族 盛装した愛犬といっしょに

「ウエディングフォト婚」のおふたりは、ご家族と愛犬に囲まれた賑やかな結婚式となりました。梅の橋を背景に、紋服&振袖姿の愛犬と浅野川のお散歩シーンを撮影しました。

ホッケーがご縁のふたりはスティックでゴールをきめました

ホッケーチームで出会った新郎新婦は、人前式でホッケーのスティックにサインを。披露宴では、ミニチュアのスティックで、ケーキ入刀ならぬ「まんじゅうファイト!」。爽やかな儀式になりました。

金沢の伝統和婚に洗練の小物でふたりらしさを

ウエディングプロデュース 金澤syugen

歴史を伝える金沢の婚礼文化を、卓越したセンスで現代和婚と調和させるプロデュース会社。オリジナルデザインのアイテムや、感謝をカタチにするアイデアの斬新さは圧巻です。

TEL.076-214-4555
http://www.kanazawa-syugen.jp
石川県金沢市泉野出町 2 丁目 22-6 サンルックスビル 2F

縁起の良い鏡開きで 和婚を満喫!

豊穣をテーマに 葡萄モチーフのこも樽で

葡萄の収穫祭の時期ということもあり、ワイン好きのふたりは「豊穣」をテーマに、金澤 modern 水引で作られた「葡萄こも樽」で鏡開き。中から出てきた「温泉の素」はゲストにプレゼント。



夢を叶えて 和婚を満喫!



金澤 modern 水引で思い出の白詰草の花冠を

野原で白詰草を編み、「お嫁さんになる時は冠をつける」と幼い頃から心に決めていた花嫁。金澤 modern 水引で白詰草の花冠と花かごブーケをオリジナルデザイン。ボンカンの愛称で呼ばれていることからボンカンの宮迫飾りも水引で制作しました。

季節を感じて 和婚を満喫!



桜満開の神社を「おまっちょろさん」に導かれて 金沢では新郎新婦の手を引く小さな子供を「おまっちょろさん」と呼び、花嫁道中に愛らしい華を添えてくれます。満開の桜のなか、新郎新婦の姪御さん、甥御さんが大活躍してくれました。

風習を再現して 和婚を満喫!



魔よけの加賀手鞠をつまみ細工で

加賀では母親が魔よけの花手鞠をつくり、嫁ぐ娘に贈る習慣がありました。七宝柄の衣装に合わせて手鞠のしべを金、銀、瑠璃、パール、珊瑚などの色でデザインした金澤つまみ紗衣布ブーケ。

温かい手作り 和婚を満喫!



花嫁が描いた絵手紙で 金沢の文化を紹介します

ご親族に金沢旅行をプレゼントしたおふたり。披露宴では花嫁が描いた絵手紙で金沢の街や習慣、特産品、伝統や文化を紹介しました。温かい思い出を皆さんと共有できるおもてなしが実現。

思い出をテーマに 和婚を満喫!



ご両親への感謝を込めて 梅を描いた指輪を贈ります

「梅の橋」でプロポーズしたふたりは、梅をウエディングのテーマに。可憐な梅花をあしらったオリジナルデザインの金澤 modern 九谷焼の指輪をご両親へプレゼントしました。



由緒ある金沢の婚礼文化が 和modernスタイルで現代に調和

情緒溢れるオリジナルアイデアが秀逸 <金澤syugen>

伝統的な儀式で 和婚を満喫!



〈お水合わせの儀〉で 両家の絆を結びます

お互いの町の花である朝顔とハマナスをモチーフにした金澤 modern 水引の水罨。ハート型の花を咲かせるタイツリ草の鉢に「お水合わせの儀」をアレンジ。

会場装飾で 和婚を満喫!



ふたりを象徴する器材に 素朴な花で二人の日常を

薬剤師の花婿花嫁。古い時代の調剤器材に花をあしらってコーナーを作りました。テーブルやかんなどは薬の原料にもなる芍薬の生花で華やかに彩られました。婚礼衣装柄が描かれた金澤祝言こぼしも装花に飾りました。

